

この作品に登場する、ぐうたらでわがまま、お笑いとおんみつが大好きで関西弁を話すゾウの神様ガネーシャは、人間が夢や目標を実現するために、さまざまな「教え」を与えてくれます。ガネーシャの教えをよく聞いて、彼が「教え」とともに出してくる地味な課題を、主人公になったつもりでひとつでも実際にやってみると、私たちの明日は少し変わるかもしれません。ガネーシャの課題のひとつ、「会った人を笑わせる」について、ガネーシャの台詞を紹介します。

「笑わせる、いうんは『空気を作る』ちゅうことなんや。場の空気が沈んでたり暗かったりしても、その空気を変えられるだけの力が笑いにはあるんや。ええ空気の中で仕事したら、ええアイデアかて生まれるし、やる気も出てくる。人に対して優しゅうなれるし、自分のええ面が引き出される。それくらい空気いうのんは大事やし、笑いって大事なんやで」

夢や目標がある人もない人も、お笑いが好きな人もそうでない人も、一読して損はない一冊です。ぜひ手に取ってみてください。

『夢をかなえるゾウ』 水野敬也／文響社／ISBN:9784866512419